

# 言者と子どもたち

:

明:

彼は模となる人物として、リダたちから尊敬され、教友たちから心にわれ、そしてくべきことに、子どもたちにも敬されてきました。

目: [事言者ムハンマド彼の性格](#)

より: F.G. (edited by IslamReligion.com)

7 Feb 2012

集日 22 Dec 2013



言者ムハンマド（彼の上に神のあれ）は大な夫であり、完璧な父であり、特な祖父でした。彼は全ての面で特でした。彼は子どもたちやたちに深い慈を注ぎましたが、彼らを正しい道に、そして善行をするように指することを怠りませんでした。彼は彼らをし、しくいきましたが、死の世界にする事柄にして彼らを甘やかすことはありませんでした。彼は彼らに、どのように人生をむべきかを教え、宗教的な行いを怠ることはさず、度に甘やかすこともありませんでした。

彼の最的な目的は、子どもたちに死の世界（ ）へのをさせることでした。彼のこれらの事柄における完璧なバランスは、神から授けられた知性の一面です。10年来の言者の侍だったアナスイブンマリクはこうえています。

??1

言者ムハンマドは、私たちと同じ人 でしたが、神は彼に全ての生き物に しての深い 情を抱かせたので、彼は全てのものとの びつきを深めることが出来ました。そのため彼は家族や他の人々に して、深い 情に溢れていました。

言者の男 は皆、亡くなってしまいました。彼の 男だったイブラ ヒ ムもまた、幼くして亡くなりました。言者はイブラ ヒ ムが死ぬ前には、忙しいにも わらずよく彼を 舞いました。イブラ ヒ ムは乳母によって面倒を られていたのです。言者は家に る前には、よく彼にキスをしたり、彼と んだりしていました。2

イブラ ヒ ムが亡くなった 、言者の目には が溢れました。アブドッラフマ ン ブン アウフはこう言いました。

??•????????????????????

彼は泣き け、こう言いました。

??

言者はとてもバランスのとれた子育てをしました。彼は彼の子どもたちや たちをとてもし、彼らに 情を注ぎました。しかし彼は して彼らを甘やかしませんでした。彼らの中でも、わざと 事を こうとする子供はいませんでした。もし彼らが いを犯したときも、言者の守りのおかげで、彼らが道を外れることは してありませんでした。彼は、彼らをと尊 で包みこむことでそれを可能としたのです。例えばある 、ハサンもしくはフセインが、 しい者に与えられるべきナツメヤシの を一つ取ろうとしました。言者はそれをすぐに取ると、こう言いました。

??3

禁じられたものに敏感な年 である子どもたちを教えるにあたって、言者（彼の上に神の慈悲と祝福あれ）は教育の重要な原 を 立しました。

マディナに ってきた には、彼は子どもたちを自分の背中に りにさせたものでした。そのような には彼の たちだけでなく、家にいる子どもたち、近所の子どもたちも抱きしめていました。彼は子どもたちの心を慈 で包みこみ、全ての子どもたちを したのです。

言者は 娘であるウマ マを しました。彼はしばしば彼女を肩に せて出かけ、祈りの途中でさえも膝にのせるほどでした。 ずくときには彼女を床に座らせ、礼 が わるとまた彼女を背中に せるのでした。[4](#)

言者は男の教友たちに、どのように女の子を うかを せるためにウマ マへの を示しました。これはとても重要なことでした。10年前までは、女 を生き埋めにするのが社会的な だったのです。以前のアラビア半 では、公の で父 が 娘へ 情を示すことなどありえなかったことでした。

イスラ ムでは息子と娘の差 など されない、と 言者は主 しました。なぜそんなことが されるでしょう？

ムハンマドにはハディ ジャ、アダムにはイブ、アリ にはファ ティマ。全ての 大な男性には、 大な女性がいたのです。

言者の娘ファ ティマが 言者のいる部屋に入ってきた には、彼は立ち上がり、彼女の手を取って彼女に席を っていました。彼は彼女に彼女の健康や家族のことを き、父 として彼女に を注ぎ、彼女のことを褒めていました。

言者がどれほど彼女のことを しているかを知っているファ ティマは、 言者のことを自分自身よりも しました。彼女は父 の姿  
そして彼がどのように人々をイスラ ムに くかを、常に ていました。言者が彼女に、彼がもうすぐ死ぬのだと えた には泣き、彼女が彼の を追う最初の家族だと いたときには、その は喜びの に わりました。[5](#)

これがリ ダ たちに尊敬され子どもたちに敬 された、 言者と彼の子どもたちとの だったのです。

---

## Footnotes:

1 サヒ フ ムスリム

2 サヒ フ ムスリム

3 サヒ フ ムスリム

4 サヒ フ ムスリム

5 サヒ フ ブハ リ 、サヒ フ ムスリム

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/555>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。